

人権特集



新型コロナによる差別、誹謗のない社会 今だからこそ、思いやりの心を

新型コロナウイルス感染症に関する人権への配慮について

コロナ禍と言われる現状のなかで、新型コロナウイルスの感染者やその家族、医療・介護従事者などに対して、差別や偏見、誹謗中傷といった、あってはならない出来事が県内で起こっています。いかなる場合でも、これは決して許されるものではありません。

新型コロナウイルスを恐れるあまり、周囲に対して過剰な反応になっていませんか？
知らず知らずのうちに相手を傷つけないように注意していきましょう。



県内の人権相談窓口寄せられた新型コロナウイルス感染症による差別などのケース

●インターネット上での誹謗中傷

感染者ではないのに、「この人は感染者だ」と SNS 上に流され、写真や住所まで投稿された。

●職場からの自宅待機

自分の家族は濃厚接触者ではなかったのに、感染者が出た施設を利用していたからと言って、勤務先から2週間の無給での自宅待機を命じられた。

●近隣からの誹謗中傷

家族の1人が濃厚接触者となったので、家族全員がPCR検査を受けたら、全員が陰性であったにもかかわらず、近隣から誹謗中傷を受け、転居を検討することになった。

相談窓口

～一人で抱え込まないで、困っていることを話してください!!～

町や県、国の各種機関で、人権侵害に係る相談事業を実施しています。下記以外にも相談を承っていますので、町のホームページなどを確認し、悩みごとがある際は、ぜひお問い合わせください。



長崎県男女共同参画推進センターきらりあ

STOP! DV・児童虐待

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための外出自粛や休業が行われるなか、生活不安・ストレスから、DV被害や児童虐待が懸念されています。

相談してみることで、ひとりでは気づかなかった解決方法が見つかるかもしれません。

あなたの大切な人が悩んでいたなら、ひとりで悩まないで
相談窓口があることを教えてあげてください。



電話 **0120-279-889**

24時間
受付

電話

メール

チャット

電話・メール 24 時間受付
チャット相談 12:00 ~ 22:00

※外国語相談にも対応

対応言語: 英語、中国語、韓国語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語、
タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語

DV相談プラス

検索

新型コロナウイルス感染症関連 人権相談窓口

☎ 長崎県人権・同和对策課 ☎ 826-2585

相談窓口ダイヤル ☎ 894-3184

新型コロナウイルス感染症や医療従事者の方、そのご家族などの方々への誹謗中傷や差別などが発生しています。一人で悩まずご相談ください。

☎ 月～金曜日(祝日、振替休日、年末年始を除く)
9時～17時45分(※水曜日は9時～20時)

☎ 相談員への電話相談 無料
弁護士への相談

1案件につき5万円まで無料
(単価:30分5,000円)

※弁護士に調査などの依頼をされた場合、
その経費の2分の1(上限30万円)を県
が支援します。

差別や誹謗中傷が起こる仕組み

新型コロナウイルス感染症の“3つの顔”

日本赤十字社は、新型コロナウイルスによる感染症には、“3つの顔”があり、これらが負のスパイラルとなつて更なる感染拡大、差別や誹謗中傷などを引き起こしていると指摘しています。

ここでは、長与町と時津町の各団体・組織で合同開催している「西彼杵郡人権教育研究大会」において、昨年度開催予定であった講演「コロナ禍における人権問題の解決に向けて」（日本赤十字社 長崎県支部）の内容の一部を紹介します。

3つの感染症が引き起こすもの

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる気の拡散につながることです。

● 第1の感染症 “病気”

感染者との接触でうつり、感染すると、風邪症状や重症化して肺炎を引き起こすことがあります。

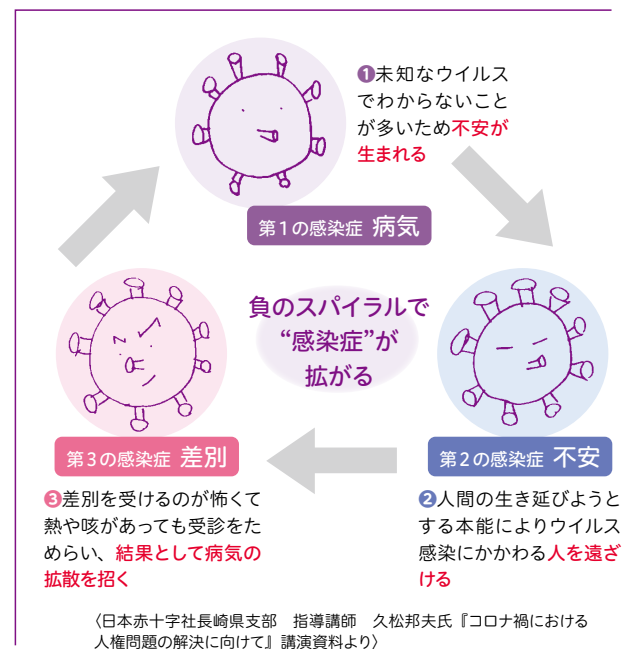
● 第2の感染症 “不安”

ウイルスは強い不安や恐れを与え、私たちにある気づく力・聴く力・自分を支える力を弱めていきます。

● 第3の感染症 “差別”

不安や恐れは、人間の生き延びようとする本能を刺激し、人を遠ざけたり、差別したりするようになり、人と人のつながりを壊していきます。

3つの“感染症”はどうつながっているの？



差別を生まないために私たちができること

3密（密閉・密集・密接）や、手洗い・消毒・マスクの着用など感染予防の対策が定着しましたが、新型コロナウイルスは、どれだけ予防を心がけていても感染のリスクをゼロにはできません。誰が、いつ感染しても不思議ではありません。

誰が感染しても差別のない安心な暮らしのために、

- ① 3つの感染症の連鎖を断ち切るために、ウイルスが心にも作用することを理解すること。
- ② ウイルスに関する正しい情報を知り、デマやうわさに振り回されないこと。
- ③ 偏見や差別に同調したり、加担したりしないこと。

を心がけていきましょう。

「コロナ禍における人権問題の解決に向けて」は、町ホームページに、令和2年度西彼杵郡人権教育研究大会（大会開催に代えた冊子）資料を掲載していますので、ぜひご覧ください。



コロナの収束には、もうしばらくの間、皆さまの辛抱と理解、協力が必要です。毎日、頑張っている医療関係者やその家族、物流を含め、私たちの暮らしを支えてくださっている皆さまの頑張りにエールを送りましょう。

感染者やその家族など、相手の立場に立って、正しい知識のもと、思いやりのある行動を心がけましょう。

そして、みんなで力を合わせて、新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう！！

